

事業番号 2022 - 文科 - 新22 - 0004

令和4年度行政事業レビューシート(文部科学省)

事業名	外国人学校における保健衛生対策事業			担当部局	大臣官房国際課	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	大臣官房国際課	大臣官房国際課長 村上 尚久	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) ・外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策(令和3年度改訂)(令和3年6月15日 外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議決定) ・新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を進める上での在留外国人支援策について(令和2年11月12日 新型コロナウイルス感染症対策分科会(第15回)資料) ・在留外国人に係る新型コロナウイルス感染予防のための支援策の強化<検討課題>(令和3年6月3日 在留外国人に係る新型コロナウイルス感染予防のための支援策の強化に関する関係省庁会合資料) 		
主要政策・施策	子ども・若者育成支援			主要経費	文教及び科学振興		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「外国人学校の保健衛生環境に係る有識者会議(令和3年5月25日 大臣官房国際課長決定)」における議論等により抽出された(1)外国人学校の把握に関する課題 (2)外国人学校において保健衛生に対する対策を講じる際に生ずる課題(保健衛生基準の設定、適切な情報の入手 等)(3)外国人学校への支援体制に関する課題(地方自治体、支援団体 他)の3つの観点を踏まえ、本事業において外国人学校における保健衛生に関する取組を実施し、その成果の展開を図ることで、各外国人学校や地方自治体等による取組を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>①外国人学校プラットフォーム事業(令和4年度～令和6年度) 外国人学校の中には、広域から子供を受入れている等の理由により、特定の地方自治体との関係構築が難しい外国人学校も存在する。こうした学校における保健衛生対策を促進するため、保健衛生に係る相談機能と情報発信機能を併せ持つ全国的な窓口を運用する。</p> <p>②地域における外国人学校の保健衛生の確保に係る調査研究事業(令和4年度～令和6年度) 外国人学校の保健衛生環境の改善のため、地方自治体や支援団体等と外国人学校との間で関係を構築し、必要な支援を行うための体制整備のあり方について、調査研究を行う。</p>						
実施方法	委託・請負						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
		補正予算	0	0	-	63	53
		前年度から繰越し	0	0	0	0	
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0	
		予備費等	0	0	0	0	
		計	0	0	0	63	53
	執行額	0	0	0			
	執行率(%)	-	-	-			
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	-				
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由			
	国際交流推進事業委託費	56	47	R4年度新規事業として措置。 ※金額は単位未満四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。			
	庁費	3	3				
	諸謝金	2	2				
	委員等旅費	1	1				
	職員旅費	0.8	0.8				
	計	63	53				

活動内容 (アクティビティ)	外国人学校における新型コロナウイルス感染症対策の実施を含めた保健衛生の確保のため、「外国人学校の保健衛生環境に係る有識者会議」の最終とりまとめの内容も踏まえ、外国人学校等に対する必要な情報発信・相談対応を行うため、民間団体等に対して全国的な窓口の運用等を委託する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	本事業を通じてより多くの外国人学校、地方自治体等に必要情報を届ける	メールマガジンの登録者数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	500	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	「全国プラットフォーム事業」の支出額 / メールマガジン等の登録者数			単位当たりコスト	万円	-	-	-	6
			計算式	万円/件	-	-	-	3000/500	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	本事業における情報発信・相談対応をもとに、より多くの外国人学校が保健衛生対策に取り組めるようにする	本事業において開設したホームページへのアクセス数	成果実績	回	-	-	-	-	-
			目標値	回	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業(①外国人学校プラットフォーム事業)の活動状況報告								
活動内容 (アクティビティ)	外国人学校における新型コロナウイルス感染症対策の実施を含めた保健衛生の確保のため、「外国人学校の保健衛生環境に係る有識者会議」の最終とりまとめの内容も踏まえ、外国人学校等に対する必要な情報発信・相談対応を行うため、民間団体等に対して全国的な窓口の運用等を委託する。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	本事業を通じてより多くの外国人学校、地方自治体等に必要情報を届ける	多言語相談窓口への相談件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	30	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	「全国プラットフォーム事業」の支出額 / 多言語相談窓口への相談件数			単位当たりコスト	万円	-	-	-	100
			計算式	万円/件	-	-	-	3000/30	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度
	本事業における情報発信・相談対応により、外国人学校に通うより多くの子供を取り巻く保健衛生環境の向上を図る	多言語相談窓口への相談があった外国人学校に通う子供の数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業(①外国人学校プラットフォーム事業)の活動状況報告								

活動内容 (アクティビティ)	外国人学校における新型コロナウイルス感染症対策の実施を含めた保健衛生の確保のため、「外国人学校の保健衛生環境に係る有識者会議」の最終とりまとめの内容も踏まえ、地方自治体及び地域の関係機関の連携の下での外国人学校における保健衛生に係る支援の在り方についての調査研究を委託する(採択件数:全2件)。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	当該地方自治体内の外国人学校の保健衛生に係る実態の把握・改善の実施	外国人学校に対する相談対応の実施回数(1件当たり)	活動実績	回	-	-	-	-	-
			当初見込み	回	-	-	-	12	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	「地域における外国人学校における保健衛生の確保に係る調査研究事業」の1件当たりの支出額 / 外国人学校に対する1件当たりの相談対応の実施回数	単位当たりコスト		万円	-	-	-	219.8	
		計算式		万円/件	-	-	-	1319/12	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度年度
	本事業における情報発信・相談対応等により、外国人学校に通うより多くの子供を取り巻く保健衛生環境の向上を図る	相談対応等を行った外国人学校に通う子供の数	成果実績	人	-	-	-	-	-
			目標値	人	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業(②地域における外国人学校の保健衛生に係る調査研究事業)の実施自治体の活動状況報告								
活動内容 (アクティビティ)	外国人学校における新型コロナウイルス感染症対策の実施を含めた保健衛生の確保のため、「外国人学校の保健衛生環境に係る有識者会議」の最終とりまとめの内容も踏まえ、地方自治体及び地域の関係機関の連携の下での外国人学校における保健衛生に係る支援の在り方についての調査研究を委託する(採択件数:2件)。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	当該地方自治体内の外国人学校の保健衛生に係る支援体制の構築	本事業の成果の1件当たりの発信回数(報告書や成果発表会等)	活動実績	回	-	-	-	-	-
			当初見込み	回	-	-	-	1	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	「地域における外国人学校における保健衛生の確保に係る調査研究事業」の1件あたりの支出額 / 本事業の成果の1件当たりの発信回数	単位当たりコスト		万円	-	-	-	1,319	
		計算式		万円/回	-	-	-	1319/1	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度年度
	外国人学校の保健衛生の確保に関する成果の普及促進	成果報告会への参加者数	成果実績	件	-	-	-	-	-
			目標値	件	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	本事業(②地域における外国人学校の保健衛生に係る調査研究事業)の実施自治体の活動状況報告								

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策評価	政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進		
		施策	施策1-6 男女共同参画・共生社会の実現及び学校安全の推進(新04-0007)	政策評価書 URL	
	新経済・財政再生計画改革工程表	取組事項	分野:		
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		
2021		該当箇所			

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	コロナ禍において、外国人学校における新型コロナウイルス対策や保健衛生環境に関する問題が顕在化しており、外国人学校に通う子供の健康を確保するとともに、感染拡大を防止し国民の安全を守る観点から、早急に取り組む必要がある。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	広域から子供を受け入れている等の理由により、地方自治体を越えた広域的な支援を必要とする外国人学校も存在するため、また、保健衛生対策の情報提供における地域格差を生じさせないため、国において総合的に推進していく必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	外国人学校における保健衛生の確保を目的とした事業は本事業のみである。また、新型コロナウイルス感染症対策の観点、および新型コロナウイルス感染収束後に一層の外国人の子供の増加が予想される観点から、時宜を逃さず実施する必要がある。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	公募情報の周知等の配慮により、競争参加者数の十分な確保に努めた。一部の事業が一者応札となったが、本事業内容が多文化共生及び医療・学校保健双方の専門性が求められるため、公募対象が自ずと限られてしまう点が一因であったと考えており、今後は公告期間の十分な確保や公募情報のより広範な周知により、競争参加者の増加を図る。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	それぞれの事業スキームにおいて、必要な経費を計上しているほか、委託要綱の中で経費の効率的執行についても記載をする予定であり、妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	国の契約および支払いに関する規定の趣旨に従い、経費の効率的支払いに努める。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業の実施に必要な専門職員の人件費、現地視察や情報発信に必要な経費、保健衛生対策の実施に関する経費等、真に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	支援対象の民間団体や自治体から適宜報告を受けることにより、実態に合わせた支援・支出を検討するよう努める。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	-
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	-
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	-

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-
	事業番号			事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、新型コロナウイルス感染症対策を含む外国人学校における保健衛生の確保を図るため、全国的な相談機能と情報発信機能を併せ持つ全国的な窓口を設置するとともに、地域の実情に即した支援に関する調査研究を行う事業である。事業の効率的な実施のため、実態が必ずしも明らかとなっていない外国人学校の保健衛生に関する把握を進めるとともに、本事業の取組や保健衛生への取組の重要性について外国人学校や地方自治体に対して積極的に周知を行うことが必要である。			
	改善の方向性	委託先との連携の下、本事業を通じた外国人学校の保健衛生に関する実態把握を更に進めるとともに、様々な関係者に対して本事業の取組や保健衛生に取り組む重要性について積極的に情報発信を図ることにより、保健衛生に係る取組の促進を図る。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業の実施状況等を踏まえ、適切なアウトカムの設定について不断の見直しを図ること。 引き続き事業の着実な実施及び適切な予算執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。					
備考					
関連する過去のレビューシートの実業番号					
平成23年度					
平成24年度					
平成25年度					
平成26年度					
平成27年度					
平成28年度					
平成29年度					
平成30年度					
令和元年度					
令和2年度	文部科学省				
令和3年度	2021 文科 新22 0007				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

庁費 2.73百万円
 諸謝金 1.68百万円
 委員等旅費 1.20百万円
 職員旅費 0.77百万円

文部科学省
 63百万円

民間企業等及び地方自治体への委託費の支出
 委託先の選定・契約に係る準備・実施
 事業実施のための有識者会議の運営 等

【委託費】

A.民間団体等

B.自治体、民間団体等
 (全2件)

事業①「外国人学校プラットフォーム事業」の実施
 外国人学校の保健衛生に係る情報発信及び相談対応を行う全国的な窓口の運用 等

事業②「地域における外国人学校の保健衛生の確保に係る調査研究事業」の実施
 認可外施設を含む外国人学校の実態把握、外国人学校と地方自治体等における連携協力の在り方に関する調査 等

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.民間団体等			B.地方自治体、民間団体等		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	30	-	-	26
計		30	計		26

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-	随意契約 (企画競争)	-	-	-

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	A	-	-	-	-	随意契約 (企画競争)	-	-	-